

10/19、12/1 “みんなの遊び場ボールパーク”開催についての報告書

木曾地区野球協会
高校代表 森 大樹

1 概要

前身となる木曾野球会議の頃から行っているイベントが現在行っているイベントであり、2021年から始めているため、今回で4年目の開催となります。

今年度は10月に日義グラウンドと体育館、12月は上松小学校体育館を会場として2度開催しました。両日合わせて延べ150名以上の1歳から11のお子様に参加したイベントとなりました。

野球をやってほしいということはもちろんありますが、一番は遊び場の少ない木曾地域の子どもたちに“場”の提供ができればと考えたことから始まったイベントであります。

木曾地域のイベントとして新聞2社(市民タイムス、中日新聞)が集うイベントはなかなか無いため、地域のイベントとしては人口比で考慮すると非常に大盛況であったと考えられます。

2 内容

①10月

日義グラウンドと体育館両方を使い、参加したお子様にはシールラリー用シートを用意し、8ブースでボール等を使ったアトラクションなどを用意し、体育館ロビーには地元の飲食の移動販売を行っている方々にもご協力いただき、豚汁やおにぎり、パン等の手軽に食べられるものも今年度は承諾いただけたことで、より活発なイベントとなりました。

また、例年通り野球の道具を知っていただくために、スポーツ店に依頼し移動販売を行っていただき、抽選で当たる野球道具までもご提供していただきました。

他にもシールを全て集めた方にははずれなしの抽選くじを用意し、楽しかったと言っていただけの園児、児童が非常に多く、イベント後には地域の学童チームに加入したいという方まででてくるようになりました。



②12月

今年度は上松小学校体育館をお借りして、10月に行ったイベントより対象年齢を下げて、未就園児でも楽しめるイベントになるように企画したものが12月のイベントであります。シールラリー用シートを用意し、8ブース全て回ると景品がもらえる方式で行いました。

開催地区が10月と違うため、参加されている園児・児童が上松や大桑といった南側の地域の子どもたちが多く参加してくださいました。

昨年はプラスチックバットとボールを景品とし、今年はシールを集めてくださったお子様に、ウレタンのボールなどをプレゼントしました。また、飲食関係では上松町名物の五平餅の販売も行い、よりイベントを盛り上げるためにご協力いただきました。

上松 小さな子 楽しさを感じてもらおう
供に野球の イベント「みんなの遊

野球遊び楽しい！

子供向け 体験会



おもちゃのバットで風船を打つ遊びを楽しむ子供

び場ボールパーク」(木曾地区野球協会主催)が1日、上松町の上松小学校体育館で開かれた。小さな子向けのボールやバットを使った遊びが用意され、親子ら約80人が訪れた。

2. 好きなピンにボールを投げて倒す的当てや、数字が書かれたパネルにボールを当てる「ストラックアウト」、バッティングコーナー

などが用意された。木曾青峰高校野球部、中学生チームのオール木曾、学童野球の上松クラブの選手らがスタッフを務め、訪れた子供たちに遊び方を教えた。木曾町福島から家族4人で訪れた保育園年少の岡本涼生ちゃん(4)は、優しく投げられたボールをおもちゃでキャッチする遊びを楽しみ、「上手に捕れた」と笑顔を見せていた。

同イベントは毎年秋に開かれている。(石尾 出)



今回のイベントに対して参加された親御様より下記のような嬉しいご意見をいただきました。

すごく楽しんで遊んでいました。普段あまりボールで遊ぶ機会がないので良い経験になりました。

子どもが体を動かす、ボールに触れる、お兄ちゃんお姉ちゃんと遊ぶ楽しさを体験できる素敵なイベントだと感じました。親が教えることも大事ですが、仲間でお互いを高め合えるスポーツを好きになってくれると嬉しいです。スタッフの皆さんありがとうございました！今後もぜひ継続してほしいです。

お兄さんお姉さんが優しくルールを教えてくれたり、難しかったら難易度を調整してくれたらして未就学児でも楽しむことができました。

3歳の娘にわかりやすく説明していただき、楽しく遊べました。

0歳の娘にも積極的に話しかけてくれる方がいて嬉しかったです。

とても楽しいイベントでした。

出入りも自由なのがありがたかったです。次回も是非参加したいと思います。運営ありがとうございました。

運営おつかれさまです。

小学生から高校生まで、とても優しく（ハイタッチなど含む）対応していただき、子どもたちも嬉しかった様子です。

1回目より高校生が慣れてきて、1歳の娘がティーバッティングをする際に、ボールを打つのが難しそうだと判断したら、風船を浮かせてバットで当てさせる工夫をしてくれて、高校生すごいなーと思っていました、また4歳の娘は2階のボールパークに参加して、いただいた景品が気に入って家の中でも壁に向かってボールを投げて遊ぶようになりました。子どもたちのボールを投げたりすることに成長を感じることができました。ありがたい気持ちです。

3 今後について

木曽地域との密接な連携をとることで、野球というスポーツを知るだけでなく、毎年の“遊び場”として地域に浸透してきています。“うちの地域でもやってください”というご意見もいただき木曽町だけでなく、昨年からは上松町でも開催することができるようになりました。このような地域のイベントを通して、実際、今年度学童のチームに加入する児童が増え、木曽地域としての野球人口を増えてきております。この活動が木曽地域の高校野球チームの存続にも大きく繋がっていくものであると考えおります。できる限り継続的にやっていくことが木曽地域のためになるので、オフシーズン問わず、小さなイベントも含めて開催できればと考えております。また、遊び場の提供が目的としているため、今後は大桑村や木祖村、南木曽町などそれぞれの地域の中で活動ができればと考えております。さらに、地域の他のイベントとタイアップして、より大きなイベントとなるよう地域の活性化に繋げていければと思っております。

ご参加いただいたお子様並びに保護者の皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

また、他地区からの来場者も若干ではありますが、いらっしゃいますので、よろしければ多くの皆様にご参加いただければ幸いです。

○参加人数及び協力スタッフ人数

10月19日

12月1日

参加者		参加者		協力団体
参加園児・児童	85	参加園児・児童	70	○木曽町教育委員会 ○上松町教育委員会 ○長野県軟式野球連盟木曽支部 ○木曽町体育協会ソフトボール部 ○木曽ひのきっ子ゆうゆうクラブ
参加保護者	50	参加保護者	50	
協力スタッフ		協力スタッフ		
木曽青峰高校	12	木曽青峰高校	12	
オール木曽(少年)	14	オール木曽(少年)	14	
福島クラブ(学童)	16	上松クラブ(学童)	12	

